

〈本体商品の取付情報〉

| 年 式 | 型 式 | 車 種 | 取付商品のサイズ | 本体の取付方法 | | | | 注 意 事 項 | オプション ※商品別の対応状況他の詳細については、必ず取扱・取付説明書や弊社カタログ、ホームページ等でご確認ください。 ※表示価格は希望小売価格（税別）です。 | |
|---------------|--------------|-------------------------------|----------|----------|-----------|---------|--------|---------|---|----------------|
| | | | | 純正部品手配 | 取付キット類 | | | | | 希望小売価格 (税別) |
| | | | | | 型 番 | 主な付属品 | | | | |
| H20/11~H22/11 | JC1系 JC2系 | 純正バックモニター +オーディオ付車 注1 | 2D | | KJ-H40DE① | P 注4 | 6,000円 | 注5,6 | | |
| | | 純正オーディオ付車 注2 | 2D | | KJ-H35DE① | P 注7 | 5,500円 | 注8 | | |
| | | オーディオレス 車/D.OPのオー ディオ付車 | 2D | 必要 注9 | KJ-H35DE① | P 注7 | 5,500円 | 注8,9 | | |
| | | M.OPのインター ナビ付車 注3 | | | | | | 未調査 | | |

- (注1) 標準装備のバックモニター+AM/FMチューナー付CDプレーヤー（2Dサイズで車両配線は24P）の場合。
 (注2) H20/11~H22/11車のCグレードに標準装備のAM/FMチューナー付CDプレーヤー（1Dサイズで車両配線は20P）の場合。
 (注3) メーカーオプションのHonda HDDインターナビシステム付車（2Dサイズで車両配線は24P）については未調査で取付可否は不明です。
 (注4) KJ-H40DE①には窓口の隙間を埋めるパネル、サイドブラケット、配線コネクタ（24P）、アンテナ変換コネクタ（CE）、ネジ類等が同梱されています。
 (注5) 車両側のアンテナコネクタはCEコネクタです。
 (注6) 標準装備のバックカメラ（カラーリアカメラ）は使用できなくなります。
 (注7) KJ-H35DE①には窓口の隙間を埋めるパネル、サイドブラケット、配線コネクタ（20P）、アンテナ変換コネクタ（GT）、ネジ類等が同梱されています。
 (注8) 車両のラジオ用配線は20Pで、アンテナ端子はGTコネクタです。但し、ディーラーオプションのオーディオ付車で、変換ハーネス（20P→24P）を使用している場合は変換ハーネスの取外しが必要となります。また、アンテナの接続に純正サブフィーダーキット（GT→JASO）を使用している場合は、そのまま純正サブフィーダーキットに接続することも可能です（取付キットに同梱のアンテナ変換コネクタは使用しません）。なお、一部オーディオレス車のラジオ用配線が24Pになっているとの情報がありますが、現段階では未調査・未確認です。
 (注9) オーディオレス車の場合は純正ブラケットが未装着のため、ディーラーオプションの1D/2Dオーディオ用「取付アタッチメント」（純正品番：08B00-SZH-L00……H21/10以降のC、DIVA、DIVAターボ系は08B00-SZH-M00）の購入が必要です（ディーラーオプションのオーディオ付車の場合は購入不要です）。また、オーディオレス車は、車両側のアンテナコードがセンターロアークラスター部迄しか配線されていないので、「取付アタッチメント」に付属されているアンテナ延長コードを接続してステレオ取付部迄配線します。

〔取付キット類の主な付属品の記号〕

| | | | |
|--|-----------------------------------|--|------------------------------------|
| | ダイレクト接続コネクタ | | アンテナ変換コネクタ（HFC） |
| | 配線コネクタ (3電源、フロントスピーカー、リアスピーカー) | | アンテナ変換コネクタ（GT） |
| | 配線コネクタ (3電源、フロントスピーカー) | | アンテナ変換コネクタ（CE） |
| | 専用パネル、または窓口の隙間を埋めるパネル | | ステアリングリモコンケーブル、またはステアリングリモコン用ミニプラグ |

〔オプションの記号〕

| | |
|--|---|
| | オプション欄にこの記号がある場合は、別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。 |
|--|---|

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報（PDF）の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

